

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果より

我孫子市立湖北台西小学校

平成31年4月18日実施6年生57名

1 平成31年度「全国学力・学習状況調査」の結果

(1) 自校の取組の成果

(国語) 文章を理解する力が、身についてきている。

(算数) 「数量関係」の領域で昨年度の正答率を上回っている。これは、算数ドリルや算数形成プリントを自分が納得するまで、友だちや先生に聞きながら解いてきた成果である。

(2) 結果から見えてきた課題

(国語) 「話すこと、聞くこと」と「読むこと」については、過去2年間よりも、正答率が下がっている。読書活動と文章理解の関連づけを行っていく必要がある。

(算数) 「量と測定」については、過去2年間よりも、正答率が下がっている。数字で表された量を実感として、とらえられていないことが課題と考えられる。

2 今後の取り組みの重点

(1) 国語の改善方策

朝読書の時間の確保を引き続き行っていく。自ら読書に臨む姿勢づくりや1日の始まりを落ち着いてスタートすることで、学校生活のリズムを整えるとともに「読書に親しむ習慣づくり」につなげる。

日々の学習の中で、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」に重点を置いた指導を進めていく。各教科との関連、教科内での領域との関連を明確にした単元構成や学習形態の工夫をする。

(2) 算数の改善方策

日々の学習の中で、既習事項を繰り返し定着していく時間の設定、説明したり、表現したりする時間の確保と授業の質の向上を目指す。

少人数でのきめ細かな指導を進め、教材の開発を行う。また、児童たち「日常生活と、学習場面を結びつける」ために指導法の工夫を進めていく。

(3) 学び合う学習集団を育てる学級経営

教師と児童の人間関係づくりを前提とし、児童同士のより良い人間関係を築く学級経営を行う。学習中に多くの友だちの考えに触れ、自分の考えを広げたり、深めたりすることにつなげるために、学習中と生活のあらゆる場で、お互いの考えを認め合える人間関係を構築する。学び合う学習集団を育てることで、児童間の学力差を縮めて、集団としての学力向上を目指す。